

## 映像通報システム Live119 運用要領（案）

## 1 目的

119 番通報の際に音声による現況把握が困難な場合に、映像通報システム（Live119）を活用して災害の状況や傷病の程度等の情報収集を行うことにより、通報現場のより正確な状況を把握し、迅速で的確な消防・救急活動に繋げることを目的とする。

## 2 映像通報システム（Live119）の概要

119 番通報者のスマートフォンに、消防指令センターに配置している専用パソコンから SMS（ショートメッセージサービス）で映像送信用 URL を送信し同画面を経てアクセスすることで、通報場所の位置情報（GPS 測位点）及び現場の映像を消防指令センターが把握することができ、また、心肺蘇生法などの動画ファイルを送信することで口頭指導の補足を行えるシステム。

## 3 対象事案

指令員は、次のいずれかの項目に該当する場合は、映像通報システム（Live119）を活用して通報状況の把握に努める。

## (1) 救急現場での口頭指導事案

傷病者の状況や体位・意識・呼吸等を確認することで、バイスタンダーに的確な口頭指導を行うことができると判断できる事案。

## (2) 映像状況によりの確な現場活動が期待できる事案

現場状況を映像で確認することにより、的確な現場活動に繋がると判断できる事案。

## (3) 位置情報の特定が困難な場合

映像及び位置情報機能を活用することにより確定までの時間が短縮できると判断できる事案。

## (4) 通信統制者が本システムを活用することにより、被害の軽減につながると判断できる場合。

## 4 実施条件

映像通報システム（Live119）を活用するときは、次の全ての項目に該当する場合とする。

(1) 通報者の携帯電話は、スマートフォンを使用していること。

(2) 通報者の周囲の環境（人的・物的）において安全が確保されていること。

(3) 通報者が SMS を理解しており、外部スピーカーへの切替えが容易に実施

できること。

- (4) 通報者がデータ通信料の負担について同意していること。
- (5) 傷病者への応急処置が中断しないように、複数人のバイスタンダーがいること。

## 5 留意事項

- (1) 通報者が第三者であり、撮影行為が現場でのトラブルに繋がるおそれのある事案については使用しない。
- (2) 通信統制者が本システムを活用することにより、被害の軽減につながると判断できる場合は、指令員に対し任務指定を行い全係員に共有する。
- (3) 出動隊に映像通報システム（Live119）を実施していることを伝える。
- (4) 映像伝送に関わるデータ通信料は通報者負担となることや、長時間使用することによりバッテリー残量が減ることを念頭に置き実施する。

## 6 口頭指導の補足

通報者に口頭指導を行う場合、当本部で作成する口頭指導動画による送信が有効であると判断した場合は、口頭指導の補足として使用する。

- (1) 胸骨圧迫（成人・小児・幼児）
- (2) 回復体位
- (3) 背部叩打
- (4) 圧迫止血
- (5) 切断指保存

## 7 記録等

映像通報システム（Live119）を実施した際は、使用状況管理簿に記載し 1 年間保存後、廃棄する。

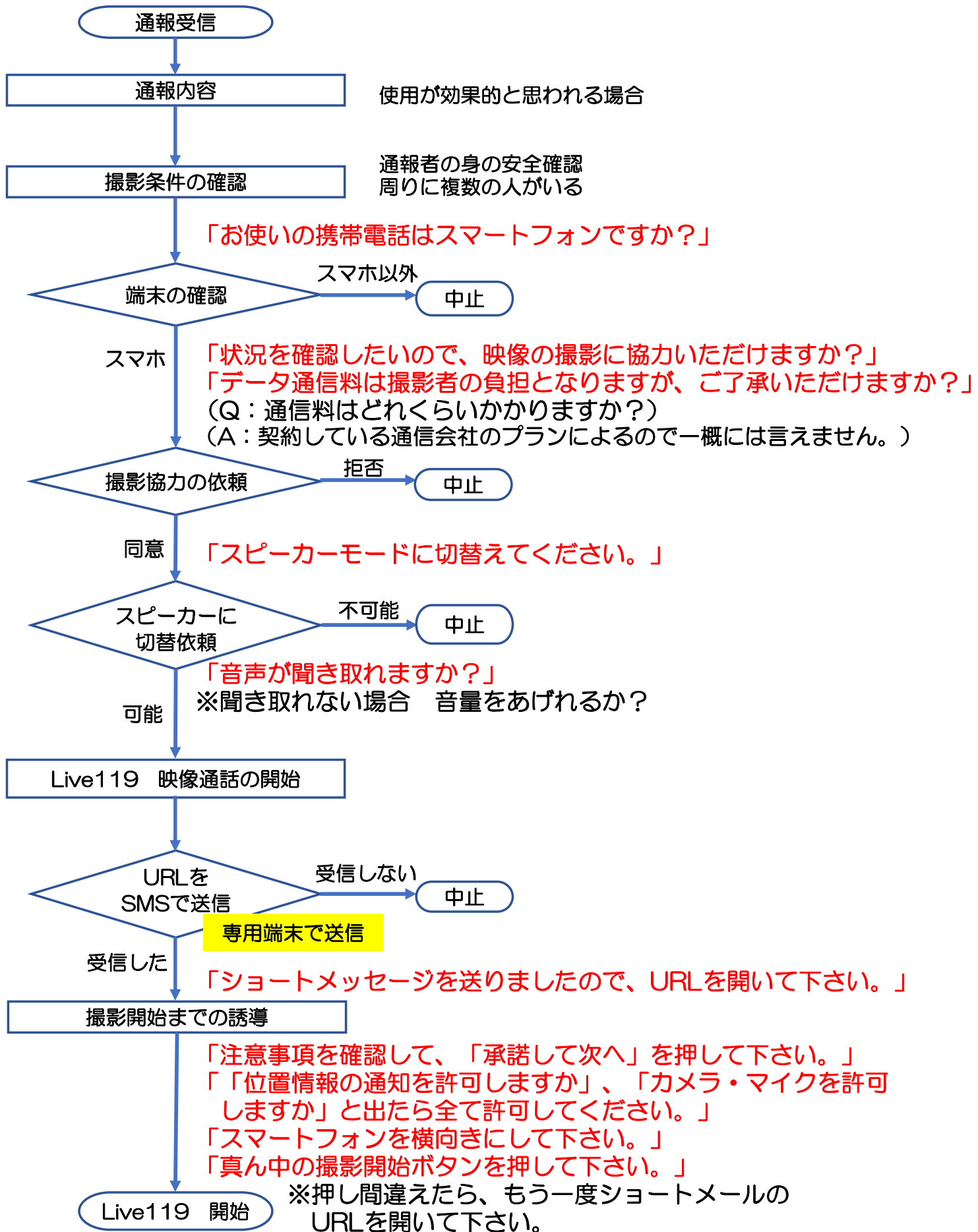
## 8 個人情報の保護

個人情報を含めたデータの保護については、「山形市消防本部が管理する個人情報の保護に関する規程」及び「山形市情報セキュリティポリシー」に基づき運用する。

## 9 効果検証

通報内容及び使用状況管理簿を利用し、定期的に効果検証・研究を行うとともに、より効果的な活用方法について検討を実施する。

Live119 映像通話開始までのフロー





# 活用事例

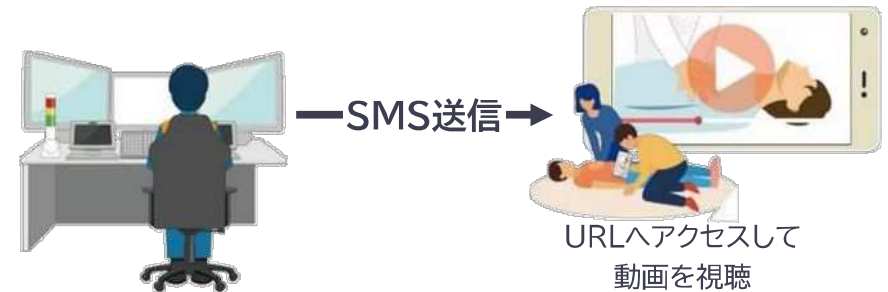
## 事故

音声のみでは指令判断が難しい交通事故の現場では映像情報により救助・救急車両の増強判断を迅速に行うことができます。



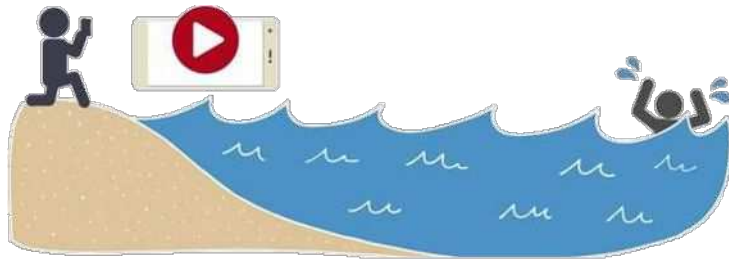
## 救急

早急な応急処置が必要な事案では動画ファイル送信機能により通報者への応急処置の方法を動画で送信し、口頭指導に役立てます



## 水難救助

河川の深さや流れの速さを映像で確認し、要救助者が流される先への救助隊の要請など、意思決定の迅速な判断材料となります。



## 山岳救助

発信地表示システムで位置情報の特定が困難な場合にGPS位置情報取得機能により位置情報が取得できます。





# 山形市消防本部

## Live119 — 映像伝送システム —

Live119は、119番通報時に伝えきれない現場状況をスマートフォンで撮影し、消防へ伝えることのできるサービスです。

消防が必要と判断したときに、通報者の電話番号に対してショートメッセージをお送りし、通報現場の撮影をお願いすることがあります。



1

ショートメッセージが届いたら、開いて確認します。



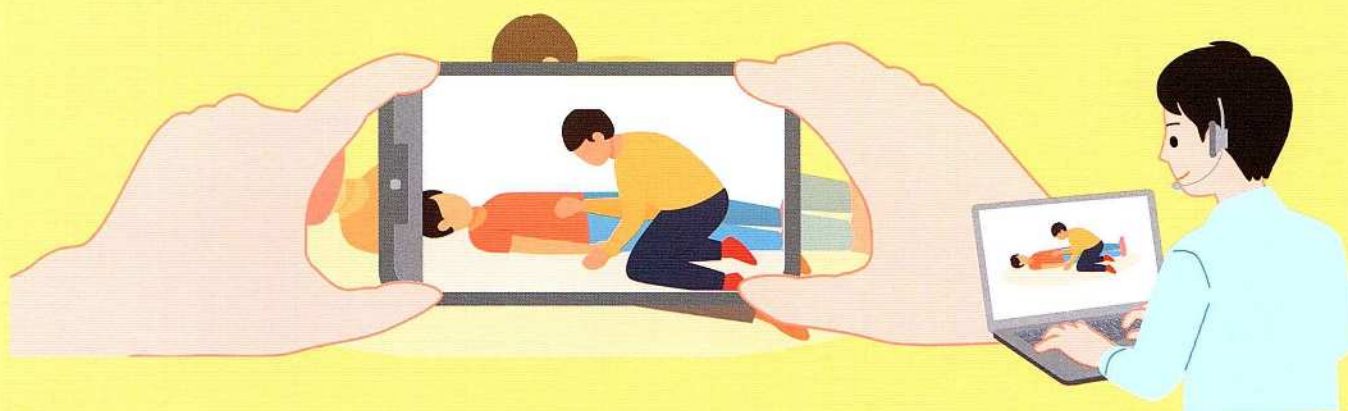
2

メッセージに書かれているURLにアクセスします。



3

画面の案内に従って操作し、撮影を開始します。



事前にアプリをダウンロードいただく必要はありません。迅速な消防・救急活動に繋げることができます。ご協力をよろしくお願いいたします。

Live119は「株式会社ドーン」の商標です。